

目次等

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-12-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/00033022

■報告

末梢神経ブロックを用いた小伏在静脈不全治療の2例…………… 高田 怜・
藤原 修・田崎愛理・
森下恵里・満田真吾・櫻井裕之…223-229

■学会・研究会抄録

女性医師・研究者支援シンポジウム 2021 (2021年6月)…………… 230-232

JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY
(TOKYO JOSHI IKADAIGAKU ZASSHI)

Volume 91 Number 5 October 25, 2021

Report

Treatment of the Incompetent Small Saphenous Veins under Peripheral Nerve Block:

A Case Report

Rei Takada, Osamu Fujiwara, Airi Tazaki, Eri Morishita,

Shingo Mitsuda, Hiroyuki Sakurai..... 223-229

Proceeding

Symposium on Women Health Care Professionals and

Researchers Support (June 2021)..... 230-232

女性医師・研究者支援シンポジウム 2021

日 時：2021年6月26日（土）9：30～(収録)

主 催：東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター女性医師・研究者支援部門

司会 (女性医師・研究者支援部門副部門長, 衛生学公衆衛生学講座公衆衛生学分野) 野原理子
 挨拶 (理事長) 岩本絹子
 (学長) 丸 義朗

開会の挨拶 (女性医療人キャリア形成センター長) 肥塚直美
 東京女子医科大学の女性医師研究者支援 (女性医師・研究者支援部門長, 臨床検査科) 佐藤麻子
 女性医師研究者研究発表会

2020年度「研究支援員制度」利用者による研究報告

座長 (生理学講座神経生理学分野) 宮田麻理子

発達期視床でのヒゲ経験依存的シナプス再編における神経活動の役割の解明

(生理学講座神経生理学分野) 中山寿子

座長 (外科学講座下部消化管外科学分野) 山口茂樹

(外科学講座下部消化管外科学分野) 番場嘉子

人工知能 AI を用いた手術動画解析

ダイバーシティ環境整備事業報告会

(ダイバーシティ環境整備事業推進室長, 解剖学講座神経分子形態学分野) 本多祥子

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業「勤務環境改善プロジェクト」報告

座長 (ダイバーシティ環境整備事業推進室長, 解剖学講座神経分子形態学分野) 本多祥子

COVID-19 感染拡大下での新入医局員勧誘方法の検討

(整形外科学講座整形外科学分野) 富永絢子

神経精神科における COVID-19 感染防止に配慮した勤務環境整備 (精神医学講座精神医学分野) 伊藤聡子

閉会の挨拶

(医学部長) 石黒直子

〔ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業 「勤務環境改善プロジェクト」報告〕

企画挨拶：勤務環境改善プロジェクト報告

(ダイバーシティ環境整備事業推進室長, 解剖学講座
 神経分子形態学分野) 本多祥子

東京女子医科大学は、2016年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択され、研究者のライフイベント及びワークライフ・バランスに配慮した研究環境の改善やこれに向けた機関内の意識改革、女性研究者の裾野の拡大、女性研究者の研究力の向上及び上位職への積極登用等を実施して参りました。実績をあげてきた従来のプロジェクトにさらに多様な視点と発想を取り入れつつ、皆様の多大なご協力のもとで様々な活動を続けることができ、本年はいよいよ事業期間6年目の最終年度を迎えました。

本学ではこの活動の一環として、2017年度より女性研

究者の研究環境整備に有効な部局横断的取り組み「女性医師・研究者の所属する医局における勤務環境改善プロジェクト」を進めております。この「勤務環境改善プロジェクト」では、学内でも特に女性医師・研究者が多数在籍し精力的に育成されている診療科が選定されます。各診療科内で結成されたワーキンググループが中心となって座談会を開き、医局内の課題について検討し、数か月間にわたり改善を実施してきました。最初の座談会では、我が国の勤務医の勤務環境の現状について情報共有を行い、自らのキャリアイメージについて考え、その実現のための課題について活発な意見交換を行います。すなわち男性女性を問わず多様な働き方を可能にするための課題解決策として、研究・教育など診療以外に必要な時間の確保、短時間勤務を当たり前にする意識醸成、不公平感の是正など、さらに今年度は特に COVID-19 感染拡大下での勤務環境改善施策について、様々な視点から検討し組織としてのテーマを設定しました。そして各

査読へのお礼

『Tokyo Women's Medical University Journal』『東京女子医科大学雑誌』では Vol.5/第 91 巻への寄稿・投稿論文につきまして、Editorial Board/編集担当幹事のほか次の先生方にご査読をお願いいたしました。ご協力に厚く御礼申し上げます。

東京女子医科大学学会 編集担当幹事会

赤穂 理絵	加藤 秀人	三枝 英人	谷口 清章	三浦健一郎
井口 成一	加藤 博之	佐々木英樹	千葉 幸英	村岡 光恵
板橋 道朗	川島 明次	佐藤 聡子	塚原富士子	村杉 瞬
井上 雄志	岸野真衣子	佐藤 孝俊	寺崎 仁	柳澤 直子
岩出 宗代	北原 秀治	塩澤 俊一	中川 雅史	山内かづ代
大木 岳志	北村 怜	鈴木 敦	長坂 安子	山口 浩司
大坪 天平	小高 光晴	鈴木 恵子	成宮 孝祐	山本 俊至
大橋 高志	小寺 由人	鈴木 悠	野原 理子	山本 智子
岡崎 賢	小林 浩子	関 康史	野村 実	吉田 千鶴
小川 正樹	小林 博人	高山 敬子	服部 英敏	吉永健太郎
片桐 聡	近藤 光子	竹下 信啓	平野 明	
片平 次郎	齋藤 千紘	武山 廉	松岡 雅人	

(五十音順, 敬称略)